

活動名（教科） 病気の予防
対象学年 6 学年
実施期間 7 月～ 1 月
実践者（所属） 佐藤 拓（久本小学校）

1. 指導にあたって

- (1) この単元の特徴や指導の難しさ
 - 教科書中心の学習で、子どもにとって身近に感じるできない。
 - 子どもに各自で検索すると、有害サイトが抽出される心配がある。
- (2) それを克服するための ICT 機器やメディアの活用（利用の意図と工夫）
 - 教科書の例や資料、デジタルコンテンツを活用してインパクトのある授業を展開する。
 - 教師で確認したサイトを「リンク集」として活用していく。

2. 単元の主な目標

- 病気の起こり方や予防の方法について、実践的に理解し、自分の生活に役立つ知識を身につけることができる。

3. 指導計画の概要（8 時間）

時間	学習内容	児童の活動（利用メディア）	指導の留意点
2	・病気の起こり方とその予防の仕方について知る。 ・病原体と病気について知る	・病気についてのイメージマップを作成する。 ・インフルエンザ、食中毒などの病気やかかる原因について調べたり考えたりする。	病気は様々な要因がからんでなることを理解させるようにする。
2	生活の仕方と病気について知る。	虫歯や生活習慣病について調べたり考えたりする。	自分の生活と結びつけて考えられるようにする。
4	喫煙、飲酒、薬物が心身に及ぼす影響について知る。	教科書や資料、デジタルコンテンツを活用して調べ、わかったことを発表する。	薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ」(http://www.dapc.or.jp)の中から、子どもが調べたり教師が提示用として利用したりする。

4. 取り組み後の子ども達の変容や成果

「薬物」「シンナー」「覚醒剤」などは子どもにとってあまり身近に感じることはできない。そこで上記のサイトを活用することによって、子どもがこれらの言葉について調べることにより、薬物が心身に与える影響やその害について考えることができた。サイト内には様々なコーナー（クイズ&ゲーム、シミュレーション、データベース）があり、子どもだけでなく教師の教材研究としての利用も可能であり大いに役立った。